

## 九州大学附属図書館蔵『さころも』解題と翻刻 (四)

閻, 紹婕  
九州大学 : 専門研究員

<https://doi.org/10.15017/4769772>

---

出版情報 : 文献探究. 59, pp.10-34, 2021-03-31. 文献探究の会  
バージョン :  
権利関係 :



# 九州大学附属図書館蔵『さころも』解題と翻刻（四）

閻 紹 婕

## 凡例

- 一、九州大学附属図書館蔵『さころも』（細川文庫本）を底本とした。
- 一、底本の表記通りに翻刻することに努め、漢字、仮名などはすべて原文のままとした。誤謬、脱落と考えられる箇所も底本の通りにした。
- 一、底本に施されたミセケチは、原文の左に「リ」を付し、その右に記した。また、補入記号は、「・」で本文中に記載し、その右に補われた語句を示した。
- 一、各面の配字配行を忠実に再現し、各行末にカギ括弧を付ける。表裏は「オ・ウ」と表示した。

## 本文

- 1 ひきたてゝいりぬるにいさ
- 2 よひの月さしいてゝ人わ
- 3 ろきさましたるねやのけ

- 4 しきもくもりなくさし
- 5 いりたるにも一所にゐ給へり
- 6 女はいとはつかしう思ひてあか
- 7 きかたをそむけるをみ給に
- 8 かほなどいつくともなくあな
- 9 をかしとはなれといかな
- 10 るにからうたけにおほとかに「（七〇・ウ）
- 1 ていみしうなつかしけなるさ
- 2 まそわさとまことしき人
- 3 よりはこよなかるへきあり
- 4 つるのりぬしいかにおもふ
- 5 らんこゝにやたつねきぬらん

6とおもふこそをそろしけれ  
 7いかなりし御かたらひことそ  
 8いかにたしかにきゝておほし  
 9かへましき人ならはまかりな  
 10むいかなりともこよひの御を」(七一・オ)

1くりのことはきこえても  
 2あるまじうなどの給御あり  
 3さまの程なきのきの月  
 4かけにかゝやくはかりみえ給  
 5を御まへなどにはつかしう  
 6みたてまつるこそと思にな  
 7にことにつけてもありさ  
 8まのなのめならぬこゝちす  
 9るにあせはなかれてわひし  
 10とは思ひなからひとえに」(七一・ウ)

1おもひしつみてはあらぬ  
 2けしきにてみちゆき人の  
 3かくとおもふになといふさま  
 4もあひきやうつきてみすく  
 5しかたければ御むかへの御  
 6む・いてまいりたるをとすれ  
 7とえて給はすなりてうたゝ  
 8ねはいかゝし給つらんきた  
 9なけさもうたかはしかりつる  
 10いのりのしの心物きよく」(七二・オ)

1おほしなるにいとおもひか  
 2けすをろかならぬちきり  
 3のほとゝおほししられ給て  
 4中／＼ねてこゝろをつくし  
 5給わたりよりもあはれにそ  
 6覺たまひけるにもこれや  
 7殿ゝいさめ給し物ゝね

|    |                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
|----|-----------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|
| 8  | ちけたるすくせならんと     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 9  | おほしなからいとかはかりの   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 10 | しつのいほりはならはさり」   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | (七二・ウ) |
| 1  | つるをまことにめつらしうのみ  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 2  | おほされてよひあかつきの    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 3  | 露気さもしらすかよひ給     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 4  | えるよな／＼ありけり此女    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 5  | きみはそつの中納言の女     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 6  | なりけりおやたちつくし     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 7  | にてみなうせにければめのと   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 8  | このやうにてやしなひたて    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 9  | まつりければ此女のとゝし    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 10 | ころははか／＼しからすなから」 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | (七三・オ) |
| 1  | いとたよりなからぬおとこの   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 2  | かけにてこの君もかしつき    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |

|    |                |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
|----|----------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------|
| 3  | すくしつるをこそこの     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 4  | ころなくなりにけるのちは   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 5  | いとわひしきかたさまにて   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 6  | にん和しのいきしをかたら   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 7  | ひてねんころにとふらはれ   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 8  | 給てかゝりてするなりけり   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 9  | この姫君をほのかにみて思ひ  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 10 | けれとめのとにいはんによき」 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | (七三・ウ) |
| 1  | こといふましかりければ人   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 2  | しれすおもひわひけるに    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 3  | かくのみ思ひわたるにこゝろ  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 4  | ほそきありさまかな仏の    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 5  | しるしにこそ人なみ／＼に   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 6  | といひてまことにこのうしかひ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 7  | わらはのいひしやうにしたる  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 8  | なりけりめのとのかゝるとも  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |
| 9  | しらてあやしうしらぬ人    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |        |

1 0 のひきくしていりふしぬる」 (七四・オ)

1 事とおもひあかすに君の

2 いて給ぬるすなはちてらの

3 ともなりし大夫といふ人

4 なく／＼うすまさよりきて

5 昨日のゆふつかたよりさはる

6 こと侍しかはあえなん又ゐ

7 きしも御つほねのへん

8 ちかくさふらひ給と思ひて

9 侍しにようつほねには人

1 0 もなしとてわらはへのなき」 (七四・ウ)

1 まとひしかはいとあさまし

2 うてあこ君にとひ侍しかは

3 ゐきしのいてゝ人もなき

4 ほとにをかしきてらのめく

5 りをもみよとの給しかは御ま

6 えはねさせ給・しまにあから

7 さまにいたりしかはその程に

8 うせ給えるといふにそあさま

9 しうおほえていかなりし

1 0 ことそと君にきゝ・ゆれはをき」 (七五・オ)

1 いてありしさまなどあさや

2 かにかたりつゝくへきこゝち

3 もせすたゝゆめのやうにおほ

4 ゆるにいみしうおほつかなか

5 りければにん和しにたつね

6 やりたりければしか／＼い

7 みしきはしをみ給て山寺

8 にこもりにいくともなく

9 いて給ひにきうしかひわらは

1 0 なきまとひてなとかたるに」 (七五・ウ)

1 かうおもはすにうとましき  
 2 こゝろのありけるよとお  
 3 ほえすたちまちはよく  
 4 あらん事もいかにしてかと  
 5 おほえてかなしきまゝに  
 6 きみの御もとにさしいていま  
 7 は此世に侍らんことこそあ  
 8 りかたく侍れあきしは  
 9 あとかたもなくまとひいら  
 10 せ侍りにけり御とくには「  
 1 いつしかとよきめをみんな  
 2 とこそまちわたり侍りつれ  
 3 まれ／＼あはれなりつる人  
 4 さへかくしなさせ給へれ  
 5 はいまは二舟をたのみたて

(七六・オ)

6 まつりてもいかてかは侍らん  
 7 このをはしましつる人は  
 8 大臣殿ゝ中將にやあな  
 9 かたしけなやかゝるよもき  
 10 かしたに二夜とやをはし「  
 1 まさんといひていと物し  
 2 けなれは君はいとくるし  
 3 いとをしきことをさへ思  
 4 ひくらし給へれはそのゝ  
 5 ちはたれともなくて  
 6 いみしうよふかしつく  
 7 をはするをめのとたれそ  
 8 と御ともの人にとはせけれ  
 9 はいはんやはたゝなまき  
 10 むうちとおもはせたれは「  
 (七七・オ)

(七六・ウ)

|    |                                           |
|----|-------------------------------------------|
| 1  | いとすきましうわひし                                |
| 2  | きことさえおほえてむつ                               |
| 3  | かしきまゝに門もとみ                                |
| 4  | にあけさせすなとある                                |
| 5  | けしきのいとことならは                               |
| 6  | 御とものおのこともみるに                              |
| 7  | いとすきましうかたしけ                               |
| 8  | なくはらたゝしうて                                 |
| 9  | やむことなきわたりにい                               |
| 10 | いは・まちきこゆるわか君 <small>と</small>             |
| 1  | をかゝる物ゝもとにしも                               |
| 2  | 御こゝろのとまりてとね                               |
| 3  | たければ・たゝきんたちと<br><small>をたんとおぼはつこれ</small> |
| 4  | あなつりきこえたてまるな                              |
| 5  | むめりなつたう殿ゝ藏人                               |
| 6  | の少将のをはしたるそ門                               |



2 もとむるときくにやつ  
 3 きてくたりなましと思  
 4 なりけり君はなにと  
 5 くすくしけるとし月より  
 6 も物思ひみたれてそむく  
 7 かし給ける中將のきみは  
 8 みなれ給まゝにかしつき  
 9 給さまなをさりとはおほ  
 10 えす何事もまさりた」(八〇・ウ)

1 る人をこそはみ給・とかは  
 2 かりこゝろとむるなかり  
 3 けるをこれはすくせなとに  
 4 ものならんかくまておほえ  
 5 はおもはすなる事かなと  
 6 我なからおほえ給へとことに  
 7 まきるゝよなくみ給にお

8 とゝはまことにいてたちて  
 9 さらはいてたてまつるへきにこ  
 10 そとおり／＼いふをとまるへ」(八一・オ)

1 きにはあらねといまはかゝる  
 2 にこそあんなれと心ほそ  
 3 くおもひなからもかうこそ  
 4 なともほのめかしきこゆへ  
 5 きにあらねはたゝなにとなく  
 6 おもひみたれてなつかしけ  
 7 なるけしきみそめしころ  
 8 よりもこゝろくるしけ  
 9 なるけしきたれともし  
 10 らすかうゝきたるありさま  
 11 をあり／＼てつゐにはいかゝ」(八一・ウ)

1 とおもふにやとあはれなれ

2 はこゝろゆくかきりゆく

3 すゑまでのちきり・し給<sup>を</sup>ひ

4 つゝたれとしらぬおほつか

5 なさをゆかしかりとひ給

6 へとなに・は<sup>か</sup>つゝみにみはてた

7 てまつるへくもあらぬ物ゆへ

8 はか／＼しからぬものゝな

9 にかなのりすへきなとゝ思へ

10 はまきはしつゝすくろ」 (八二・オ)

1 をけにさはかりにこそはと

2 をしはからるゝありさま

3 なれはせちにもとひあらは

4 かし給はすかゝる程に夏も

5 すきてあきのはしめにもなり

6 ぬるを源氏のみやふるき

7 あとのゝちさやかにみあは

8 せ給はすこよなくかはりたる

9 御けしきをされはこそと

10 つらきにいまはいかてひまも」 (八二・ウ)

1 あらはつふ／＼ときこえしら

2 せはやとさるへきをりを

3 まちわたるにうかりけるよ

4 とやおほしいてけん御こゝろ

5 よりもをろかならすもてな

6 させ給へはさすかに人めをつ

7 つむさまもをろかならすひ

8 とえにむかひみたてまつれ

9 とありかたきわさにそあり

10 けるくれつかたまいりてみた」 (八三・オ)

1 てまつり給へは大宮もこ

2 なたにをはしましてもろ

3 ともにこうたせ給なりけり  
 4 とくまいりてけんそをこ  
 5 そつかうまつるへかりけれ  
 6 とてちかやかにゐ給ちゐ  
 7 さき御木丁などもをし  
 8 やられてつねよりもはれ  
 9 はれしければ宮いとはし  
 10 たなしとおほして御かほは  
 「(八三・ウ)

1 いとあくなりなから大  
 2 みやのみたてまつらせ給へは  
 3 れいのやうにもそむかせ給はて  
 4 くさのからをりのすゝしの  
 5 ひとへこきはかまたてまつりて  
 6 こはんにかたふきかゝり・て 給  
 7 御扇をわざとならすまき  
 8 らはし給へるかたはらめちよ

9 をちよにそへてもみまもり ほ  
 「(八四・オ)

1 きこゆともあくよいつかあん  
 2 とみ給になみたをちぬへ  
 3 ければよろつにまかきら  
 4 はさせ給てとうあん<sup>〃</sup>の御  
 5 かたにたいにしつらひせれ  
 6 つるは何事にかとの給へは  
 7 こきさいのみやにさふらひ  
 8 けるはてのきみのむすめは  
 9 かこつつきゆえやありけん  
 10 はゝうせてのちいとあはれは  
 「(八四・ウ)

1 なときゝ給けるをかのうゑの  
 2 つれ／＼なるあつかひくさにせ  
 3 むなどの給とそありしさやう  
 4 のれうにやあらんおのこゝのいと

5 かやすきもあんなれとそれは  
 6 中務のみやの御こといひけれ  
 7 はとき／＼かよはし給なりとき  
 8 きしそれもさるへきにやと  
 9 の給はすれはそも殿ゝ御  
 10 こにてあれなゝにかしには」 (八五・オ)

1 にぬにやあらんはらからあ  
 2 またもたる人こそうらやま  
 3 しけれあとしのふへき人  
 4 たになきとてあはれけなる  
 5 御けしきのけにたゝなる人  
 6 たにあはれに心くるしけ  
 7 なる御さまなれは大宮れい  
 8 のゆゝしきことにくちなれ  
 9 給つるこそ心うけれとて涙く  
 10 ませ給えるをみるもかはかりの」 (八五・ウ)

1 ことのはをいま／＼しうおほ  
 2 したるもあはれなりまして  
 3 つゐにはゆくすゑはか／＼  
 4 しかるましき心のうちを御  
 5 覧をさせたらはまいていかに  
 6 と思ひつゝけらるゝに涙もこ  
 7 ほれぬつしみややう／＼御木  
 8 丁の中にまきれいらせ給ぬ  
 9 るをみるもやかてたましあは  
 10 そひきこえて我身はから」 (八六・オ)

1 の心ちしておほゆるに御  
 2 まへのこたちこくらうむ  
 3 つまし<sup>か</sup>けなる中にうつ  
 4 せみのあやにくになきい  
 5 てたるはみゝにとゝまるへし

6 声たてゝなかぬはかりに  
7 物思身はうつせみにをとり  
8 やはするとうゑそへ給へし  
9 きゝやうをみなへしのもとに  
10 ちらしたる夕へのをかし」 (八六・ウ)

1 きにさふらふ人めしてなてし  
2 この草をらせ給とて我も  
3 かうらんにをしかりてうち  
4 なかめさせ給えるもよのつね  
5 とはみえず・ものし給ける蟬<sup>そ</sup>  
6 くわうようになきてかんきう  
7 秋なりとしのひやかにすん  
8 し給御うゑめつらしきことな  
9 らねとわかき人／＼はしに  
10 かつりてめてたしと思ひたるも」 (八七・オ)

1 ことはりなりさはかりあた  
2 りまてにほひみちてみたて  
3 まつる人は物思ひわするゝ  
4 やうなる御あひきやうな  
5 とをひとへにほこりかにもて  
6 なし給はていたうしつまりて  
7 つねは心地よけならす思こと  
8 ありかほなる御けしきにて  
9 おり／＼物おもはしけに心ほ  
10 そけなるくちすさみし給  
11 へるはあるくゑひすもな」 (八七・ウ)

1 ひきぬへき御ありさま也  
2 日のくれゆくまゝにひも  
3 ときわたす花の色／＼をか  
4 しくみわたさるゝに袖より  
5 ほかにをきわたす露もけ

6 にさまならぬにやとなかめ  
 7 いたしてとみにもたち給は  
 8 すむしのこゑ／＼のもと<sup>せ</sup>の  
 9 心ちしてかしこましきまで  
 10 みたれあひたるを我たに」  
 (八八・オ)

1 ものかなしくおほされけ  
 2 り月いてゝふけゆくけしき  
 3 にかの程なきのきのなか  
 4 むらんありさまもふと思ひ  
 5 いてられ給はおほろけなら  
 6 ぬおほえなるへしおはして  
 7 み給へはおほしつるもしる  
 8 くしとみなともをろさ  
 9 て東むきなるつまとをし  
 10 あけてくまなき月をひと」  
 (八八・ウ)

1 りなかめふしたる程こさら  
 2 ましかはとあはれなれは袖  
 3 うちかはしてかたらひつゝも  
 4 ひるの御にほひの恋しう  
 5 おもひいてられ給てこよな  
 6 きめうつしもなをなき  
 7 の心ならんとめのまへのあ  
 8 はれはいとあやしきまで  
 9 おほえてみてはえあらしとお  
 10 ほえ給えは我なからいと物」  
 (八九・オ)

1 くるをしうおほえてすく  
 2 るにありはつましきよと  
 3 おもひをく事あらしと  
 4 思ひしほいにはにすなり  
 5 なはいかにおほつかなくゆく  
 6 ぬなきこととおもはんと思  
 7 ひつゝけられ給まゝにれ

8 いのなみたもこほれをち給ぬ

9 またよになからふましき

1 0 心ちのみすれはたはふれ」 (八九・ウ)

1 にても此世にふつきことは

2 あらしと思ひしをみそめ

3 きこえてのちみえぬ山ちに

4 もこよなうものうくなり

5 にたるかなとかゝらぬいのち

6 もあはれなりぬへくそを

7 たにのちのとたれいひけん

8 なあふにはかへまほしく

9 おほえけるをとてうちな

1 0 き給えるまみのすくれ給」 (九〇・オ)

1 多るくまなき月にまさ

2 りてみ給にもとをき程の

3 いてたちちくなりぬれは

4 いかと思ひいて給はんと我心

5 のうちさへかきくらされて

6 はしたなきまでこほれお

7 つれは

8 はなかつみかつみるたにもある

9 ものをあさかのぬまに水や

1 0 たえなんはかなけにいひなし」 (九〇・ウ)

1 たるけしきまことしう

2 めてたきよりもあはれにそ

3 きゝなさせたまふ

4 としふとも思こゝろはふか

5 ければあさかのぬまの水は

6 たえしよ吉野イセゝやまに

7 ましるとも我こゝろのうち

8 はよはるへき心ちもせず

|             |               |     |             |              |              |             |             |            |              |             |              |               |              |             |             |
|-------------|---------------|-----|-------------|--------------|--------------|-------------|-------------|------------|--------------|-------------|--------------|---------------|--------------|-------------|-------------|
| 2           | 1             | 1 0 | 9           | 8            | 7            | 6           | 5           | 4          | 3            | 2           | 1            |               | 1 1          | 1 0         | 9           |
| ちきり給も人しれすあは | かへるやまのしゐしはとのみ |     | おほうらうたけなるにと | はれなるまゝにいとゝみ所 | なんとおもひなからもある | たいつこともなくてやみ | みたてまつるまじうはた | めかしきこえんつゐに | は露はかりもいかてかほの | あさまじうはつかしけれ | りさまにてひきつかん程の | れはとはかりいふかひなきあ | はぬにこそと思もかなしけ | ては給をかうとはしり給 | なとちゝのやしろをかけ |
|             |               |     | 「           |              |              |             |             |            |              |             |              |               | （九一・オ）       |             |             |

|              |             |              |              |             |               |             |                 |               |  |               |              |               |              |              |              |             |               |
|--------------|-------------|--------------|--------------|-------------|---------------|-------------|-----------------|---------------|--|---------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|-------------|---------------|
| 9            | 8           | 7            | 6            | 5           | 4             | 3           | 2               | 1             |  | 1 0           | 9            | 8             | 7            | 6            | 5            | 4           | 3             |
| らけすことのほかにあるま | あれとそのけしき人にし | のうちに思ひあまることは | ろめたけにそみえ給ぬる心 | しきそはてはすこしうし | けるうしろみなどのほか／＼ | う物はかなきさまそし給 | いといったうおほとかにいはけな | としは甘になり給にけれども |  | さいはいかなといひめてけり | をよの人はいみしかりける | ありつかぬまてかしつかれ給 | はな／＼ともてなし給さま | しけなれはいとうれしうて | むかへとり給てみ給にをか | やかの大い殿には此姫君 | れなることかきりなしまこと |
|              |             |              |              |             |               |             |                 |               |  | 「             |              |               |              |              |              |             | （九二・オ）        |

|              |                        |               |              |              |              |               |             |               |              |             |            |  |                         |              |
|--------------|------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|---------------|-------------|---------------|--------------|-------------|------------|--|-------------------------|--------------|
| 1            | 1 1                    | 1 0           | 9            | 8            | 7            | 6             | 5           | 4             | 3            | 2           | 1          |  | 1 1                     | 1 0          |
| ねうちなきつゝいとうるは | 恋しうおほゆれとしのひ」<br>(九三・オ) | つれ／＼なりしありし所さへ | ぬこゝちのみしてあやしう | され給てほれ／＼しうあら | けにそはな／＼しうもてな | すみ給えるならはぬ心にいと | けはやとみゆるかたそす | あらめとみゆれと猶かとをつ | けに人のむすめはかくこそ | こゝろはへなとは心やす | をとなしう心くるしき |  | さはしのひすくし給つへし」<br>(九二・ウ) | しきことなれと人のもてな |

|              |             |              |              |             |             |  |                        |                                    |            |            |             |             |             |             |            |           |
|--------------|-------------|--------------|--------------|-------------|-------------|--|------------------------|------------------------------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-----------|
| 6            | 5           | 4            | 3            | 2           | 1           |  | 1 1                    | 1 0                                | 9          | 8          | 7           | 6           | 5           | 4           | 3          | 2         |
| 女ともかたはらいとうみ給 | ありつかはすみくるしき | さふらはするありさまいと | おやともさま／＼にしつゝ | たゝつねいたしてつくり | なけなる女かたともあま |  | しことなることなくきた」<br>(九三・ウ) | てかたはらいとき・かきりな<br><small>こと</small> | もてなすさまさしすき | なに物宮人なとしりて | ろみにきたりける中／＼ | まとなりては此君のうし | らぬさまにてましらひい | たつ人のみやの中かすな | けるはゝのなましたし | しうそ日をくらし給 |

7 おり／＼おほけれとこのはゝ  
8 しろをにはかにかえ給まし  
9 かりければまかせ給へり姫  
1 0 君もたゝ此人のもてなしきこゆ  
「(九四・オ)

1 るまゝにわりなくあるま  
2 しきことをさへそし給  
3 けるおほかたにつくるあ  
4 りさまなとまことしうめて  
5 たくおしをきてたれと  
6 うち／＼の人／＼のありさまは  
7 したゝめ給はすこまやか  
8 なることもおはせぬなるへし  
9 こゝろにまかせつゝ此御  
1 0 はゝしろつくりおやとも  
「(九四・ウ)

1 しいてたるわか人の思ひ

2 やりす・なきかきりをかす  
3 もしらすあつめさふらはせて  
4 よるなどになれば殿上人  
5 しよ大夫までいたしあは  
6 せさはくけしきとも  
7 いといまめかしかりけりき  
8 みはたゝあかこのむつき  
9 にくゝみたるこゝちして  
1 0 我にもあらすまかせられ給て  
「(九五・オ)

1 しつらひありさまなどの  
2 めてたぐおなしわか身とも  
3 おほえぬなどを人しれす  
4 こゝろの中にははゝや  
5 めのとなとにこれをみせたる  
6 はいかて人なみ／＼になさんと  
7 あけくれないひおもひたりし

8 物をよしなき人にまかせら  
9 れて心に思こともいはまほし

1 0 きこともつゝましくはつ」 (九五・ウ)

1 かしくてやみにむかひたる

2 やうにおほゆることゝ思ひつ

3 つけてはうちなき給ひけり

4 されとたゝうちみるにはう

5 つしこゝろ<sup>も</sup>なきやうにそ

6 おはしける八月ついたちころ

7 にさのみはいかゝと中将の

8 君中納言になり給ぬ大殿

9 はやかてこれをもいたはしけに  
" " "

1 0 おほしたれとさのみはとて」 (九六・オ)

1 したいのまゝになり給な

2 るへし御よろこひ申給に

3 春宮御かた／＼へまいり給とて  
4 つくろひたてゝまつ殿ゝ

5 御まへにまいり給えるに御か

6 たちありさまなんとつかさ

7 くらゐにそへつゝゆゝしう

8 のみひかりそえ給をこといみ

9 もし給はぬけしきにて涙

1 0 をとしたちゐつくろひた」 (九六・ウ)

1 てまつり給御けしきそこ

2 とはりなるおほきおとゝの

3 御方にまいり給えるついでに

4 いま姫君の御かたにもまいり

5 給えれはみす所／＼をしはり

6 て人／＼こほれいてゐたり

7 けるにはしめたれは心よ

8 うゐもことにてあゆみいて

9 給えるを人／＼みつけたて」 (九七・オ)

1 まつりていりさはくけし  
 2 きともあやしうみつかぬ  
 3 こゝちするにき丁とも  
 4 いたしてかはくとさしいて  
 5 すそひろけそよ／＼とき  
 6 こゆるにたちさはくき  
 7 ぬのをと木丁のをと物  
 8 もきえぬまでさはき  
 9 あひたりいとゝこゝろあ  
 1 0 はたゝしうおほゆれと  
 1 1 いまやそゝめきやむとおも  
 1 いはてつく／＼とぬ給えり  
 2 遍／＼のきぬのすそともひ  
 3 きかさね袖くちとゝのへ  
 4 わらはのあこめともすへて

「(九七・ウ)

5 みたりかはしうこほれいて  
 6 あつめて木丁のほころひ  
 7 ともほろ／＼とゝきさくをと  
 8 もいとしるくひとつほこ  
 9 ろひよりかほ／＼をならへて  
 1 0 五六人までまつ我みんなのみ  
 1 あらそふけしきのしのふる  
 2 からにかくあらはにみゆる  
 3 にやあらんまことに物く  
 4 るをしうかゝうしてみえ  
 5 たるにやあらんめてたかり  
 6 けり目うろみえ侍つる  
 7 人／＼なとはたゝつちなり  
 8 けりとさゝめくいとおこかま  
 9 しうみ給此みすのまへをいま  
 1 0 まてうゐ／＼しうこそ月  
 「(九八・オ)  
 「(九八・ウ)

1 ころのおほつかなさをたつ  
 2 ねさせ給はぬこそとうらみ  
 3 申侍との給こそのおほ  
 4 ろけの人のいらへにくけに  
 5 はつかしければそや／＼と  
 6 つきしろふなれはまろは  
 7 ふよう君の給へなとさゝめ  
 8 きてたちつゝいくもあるへし  
 9 物にくるうかとうせたるこ  
 10 ゑしてあなはつかしとてたつ

「(九九・オ)

7 かまやとせいするも中／＼  
 8 かしかまし女房はいくら  
 9 はかりあるにかなにとなく  
 10 きえいり／＼わらひさはくきぬの」(九九・ウ)  
 1 をとけはひの物くるをし  
 2 うさはかしければしりめに  
 3 いひしらすはつかしけに  
 4 みいれ給つゝこはいかに  
 5 とようらしまのこゝちも  
 6 し侍かなとてすこしほゝ  
 7 ゑみ給えるけしきのみす  
 8 のまへにはすこしあたら  
 9 しいそみえ給へるこの木  
 10 丁のまへにゐたる人に」(二〇〇・オ)  
 1 おくのかたよりそよあき

2 きてうらみすをはくとよ  
 3 みかけていれねとさゝめく  
 4 なくわ君の給へ我はさら  
 5 にとわらひいりてあふきして  
 6 かたのわたりひし／＼といたく  
 7 うてはたうには君なしとて  
 8 つようつむへしいたしやそ  
 9 こはとてしのひもあらず  
 10 ほかにもいてぬへくさはく  
 1 (一〇〇・ウ)  
 1 いくつかのつまるゝかと思ひや  
 2 るもいとをしうあやしけ  
 3 れはたちのきなんとおほす  
 4 ほとにこゑいとしたはやに  
 5 たかき人いてきていてやさ  
 6 ふらふ人かうこそよき人  
 7 もをかしようゆえあれなと

8 もとらせ給はかりにてはく  
 9 さしくさしとてにかみ  
 10 わたしてさしよりていふ  
 1 (一〇一・オ)  
 1 よしのつなにかはわたるいも  
 2 せやま人のめなるなのみな  
 3 かしてといふこゑいとしたと  
 4 にいきみしかにわかひさ  
 5 せたりこれそはゝしろな  
 6 るへきときゝたまふ  
 7 しらせはやいもせのやま  
 8 伊 うらむるにあさくそみゆるよしの川  
 9 のなかにおつるよしのゝた  
 10 きのふかき心をとてなけ  
 11 しにをしかりてゐ給え  
 12 りいとおほつかなき心ちし  
 1 (一〇一・ウ)

1 侍つるにうれしきつゐてと  
 2 おもひ侍るにも物をこそ  
 3 あしう申なし給けれと  
 4 の給へはさはやかにうちわら  
 5 ひてさはいまよりけさむ  
 6 をよくつとめさせ給へわ  
 7 かき人の思ひむせ侍るを  
 8 いぬもときてやといふも  
 9 いとあやしきたとへなり  
 「(一〇二・オ)  
 1 よろつにしらぬ国にむま  
 2 れたるこゝちし給にたち  
 3 給なんとて日ころはおも  
 4 てふせにやをほしめすとて  
 5 つゝみ侍つるにけふはかは  
 6 るしるしにやいとゝ思ひ  
 7 給えるそかしかゝるみすの

8 まへもいまたならひ侍らぬ  
 9 ことなれはいとはしたなき  
 1 0 こゝちし侍をかのこのうす  
 「(二〇二・ウ)  
 1 さにけふは思ひ給てなく  
 2 さみてんいまよりのちそ  
 3 うらみ申へきとかこちの給  
 4 をけふは風あらゝかにふき  
 5 こしたるにみすはふきあ  
 6 けられてき丁のたうれぬ  
 7 るを<sup>み</sup>とにおこす人もなし  
 8 きぬひきかつきつゝひと  
 9 へにかくれあひてさはく  
 1 0 程に我はのとかにみいれ  
 「(二〇三・オ)  
 1 給へはうすきにほひのこき  
 2 うすきうちきかうそめの

|             |            |            |             |              |              |             |              |             |  |             |              |            |            |             |             |             |              |
|-------------|------------|------------|-------------|--------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--|-------------|--------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 9           | 8          | 7          | 6           | 5            | 4            | 3           | 2            | 1           |  | 1 0         | 9            | 8          | 7          | 6           | 5           | 4           | 3            |
| まへにまいり給えれば院 | ちのき給ぬさて殿へ御 | をこしなとしつればた | はゝしろからふして木丁 | りけりなとみあらはし給て | 殿へ御こといふへうもなか | こそいとよくにたりけれ | 将かよふらんけにやあれに | やとそうちみえ給かの少 |  | しかんめれと心なのさま | 人／＼のけしきよりはをか | うあきれ給えるかほは | そむき給はすあさまし | みあはせてとみにもよく | れふし給えるにいとよく | かまきてき丁のまへにひ | ひとへくわんさういろのは |
| 「（一〇四・オ）    |            |            |             |              |              |             |              |             |  | 「（一〇三・ウ）    |              |            |            |             |             |             |              |

|             |             |             |              |             |  |             |             |             |                          |                            |             |            |             |              |              |
|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|--|-------------|-------------|-------------|--------------------------|----------------------------|-------------|------------|-------------|--------------|--------------|
| 5           | 4           | 3           | 2            | 1           |  | 1 0         | 9           | 8           | 7                        | 6                          | 5           | 4          | 3           | 2            | 1            |
| きことおほかりつらんと | つればよいかをこかまし | られてすこしほゝゑみ給 | ひあらそひつるおもひいて | 給はするに木丁のほころ |  | かしうおほしめされての | ましさをこなからもはつ | ちうちのありさまのあさ | なに事 <sup>”</sup> のありつるとう | との給 <sup>甲</sup> はさてなにかしつる | はしめてまいりて待つれ | 君の御方にもけふこそ | にもときこえ給ていま姫 | はいかゝは後のみやの御方 | にはまいり給つやとの給え |
|             |             |             |              |             |  | 「（一〇四・ウ）    |             |             |                          |                            |             |            |             |              |              |

6 おほしやるにわれもうち  
7 わらはれ給てよしなき物  
8 あつかひものこのみ給ほ  
9 とにたかためにもかたはら」 (一〇五・オ)

1 いたきこといできなんと  
2 こそみゆれかゝるものは  
3 すへてちかくてみぬこそ  
4 よけれとしころもかく  
5 なんあるとほのきゝし  
6 かとおほえぬことなれ  
7 はたつねいてぬをなにの  
8 たよりにいとかたくなし  
9 うありつかぬことありぬへし  
10 やとうめき給をけにと」 (一〇五・ウ)

1 思へとあさましうおほえ  
2 りつるかほのかくるへう

3 もあらさりつれはつれゝに  
4 おほしめされんにはなと  
5 てかあしうも待らんさすかに  
6 たしかなるなさしてたゝ  
7 よひ給はんもいかゝ身つ  
8 からのこゝろたによくは  
9 とそきこえなし給宮の」 (一〇六・オ)

1 少将にこそいとうように  
2 たれせうとのしれ物あ  
3 むなれかのみやのことは  
4 いまはかしこにあるを  
5 おほえとりてつかひ給  
6 もすこし物はかなけに  
7 そみゆるおりゝある  
8 御うしろみのくるしき」 (一〇六・ウ)

1 こそかたはらいたくかく

2 てありぬへうはのけら  
 3 れねかしとみれとたよ  
 4 りなくおもひ侍るに  
 5 よりとあれはおほかた  
 6 さかしうもせてみるなり  
 7 とふさはしからぬ御け  
 8 しきにそおほし給「(二〇七・オ)

1 本云  
 2 やよひのなかの二日  
 3 さつまのくにたくまのなかにて  
 4 東むきにて  
 5 あめしめ／＼とふりいるゝか  
 6 たゝいまは  
 7 はれたるに  
 8 ひとりゐて  
 9 みの時にや  
 10 かきいて

1 1 候也「(二〇八・オ)

〈付記〉

本稿をなすにあたって、九州大学附属図書館より、資料の閲覧及び翻刻掲載の御許可を賜りました。記して心より御礼申し上げます。

(えん しょうしょう・本学専門研究員)